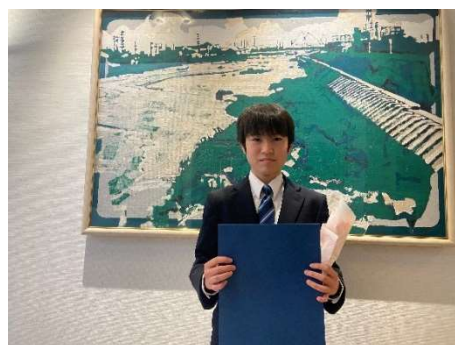


川越中学校には様々な課題があります。なかなか登校へ踏み出せない生徒、自分自身の将来に悩み考える生徒、いじめ、自分の家族のことなど……。だからこそ、川越中学校では、これからも人権学習を大切に進めていきます。人権学習を通じて、自分を磨き、自分自身を高め、これから「確かに生きる力」につながることを願って進めていきます。

② 4年ぶりに開催された『川越町戦没者追悼式』において3年1組「山北理孔（やまきた りく）さん」が、川越中学校を代表して、人権作文を発表しました。



川越町では11月11日（土）あいあいホールで「戦没者追悼式」が行われ、遺族やその家族、関係者などが出席しました。また、今年は4年ぶりに非核平和都市宣言啓発事業として、8月に広島市の原爆ドームや平和記念資料館を訪れた、川越北小学校6年生3名の児童による体験発表と。人権作文として「戦争と平和」をテーマに想いや考えを綴った川越中学校3年生山北理孔さんの作文発表が行われました。

【3年1組 山北 理孔 さん 人権作文 「戦争と平和」 から一部抜粋】

僕は戦争のない平和な日本に生まれ、ご飯を毎日食べ、明日に向けて寝て、欲しい物も手にすることができる、そんな生活を送ってきました。しかし、世界中の人がみんな、このような暮らしをできるわけではありません。毎日、生きるためにどこかで働く子もいれば、爆撃に怯え、どこかに隠れながら生活している人だっています。その人達はみんな、毎日生きること必死で、それだけで精いっぱいです。僕は、今の普通の生活を当たり前でできていることが、どれほど幸せなのかを実感しました。原爆を落とされた同じ国の人である以上、後世に戦争の悲惨さを伝えていかなければならないと思います。そうすることで、命の大切さを考え、人権というものが守られていくのだと思います。

「人権」とは、人がみな生まれながらに等しく自由で、他人にゆずりわたしたり、侵されたりすることのない権利であって、生きることが当たり前になっています。また、日本国憲法第二十五条では、生存権について定めていて、このような権利を理不尽に奪う戦争は、人権侵害の一つだと思いました。

これからの時代、戦争が起こることがない時代にしていかなければいけません。そのために自分たちができることを考えました。それは、戦争のことを次の世代へと語り継いでいくことです。一人ひとりが過去や今起きている悲惨な状況を知り、何か国同士でのいさかいがあっても平和に解決していくことが大切だと思います。

③ 三重県PTA 連合会主催『楽しい子育て全国キャンペーン』三行誌コンクール
川越中学校で毎年継続して取り組んでいる「三行誌」。この三行誌には、「家族の絆」を中心に、普段なかなか言えない家族への感謝の想い等を三行誌に表現。自分の素直な想いを言葉にする。これも人権学習につながる川越中学校で大切にしている取り組みです。

■ 1年1組「中村 梨乃（なかむら りの）さん」の三行誌が



「三重県PTA 連合会会長賞」を受賞！

「県P 会長賞を受賞」した中村さんの三行誌。

『毎朝お母さんが言ってくれる

「いってらっしゃい」の一言は

私にがんばる力をくれる愛言葉 』